

議論のためのたたき台

(1) 研修プログラム作成を弾力化するためのモデル事業の実施

- 現行の研修プログラムをさらに弾力化し、研修分野やその期間に係る規定を見直すことが可能かどうかの基礎資料を得るため、大学病院を中心に2年間研修するプログラムについて、以下に例示するようなモデル事業を実施してはどうか。なお、当該プログラムの定員数は、当該大学病院における現行の枠内で設定する。

(例)

- ・ モデル事業として、内科、外科、救急、小児、産婦人科など、著しい医師不足を生じ地域医療に影響している科を中心に各コースを設定する。それぞれのコースにおいては、当該診療分野の研修を重点的に行う。なお、各コースについては2年間に内科、外科、救急、小児、産婦、精神、地域保健・医療の研修を任意の期間行う。

(2) マッチング制度の対象外の取扱い

- 研修医の地域定着を促進する観点から、就職先を限定した地域枠あるいは奨学金を受けている医学生については、奨学金制度等の内容を考慮した上で、マッチング制度の対象外としてはどうか。

(3) 臨床研修病院の指定基準の改正

- 臨床研修の質の向上を図る観点から、臨床研修病院の指定基準を改正してはどうか。なお、運用に当たっては、医師不足地域等の臨床研修病院等に対して、当面、経過措置を設ける。また、医師不足地域等に医師派遣を行っている臨床研修病院等に対しては、その状況等を考慮すべきではないか。